
e-balance 採用 新商品市内循環 低床路線バス 専用タイヤ 「M628」の開発

東洋ゴム工業株式会社(社長:片岡善雄)は、市内循環 低床路線バス専用タイヤの新商品「**M628** (エムロクニーハチ)」の開発を進めており、平成17年11月より順次 全国で発売開始します。

発売サイズは、245/70R19.5 136/134J と 275/70R22.5 148/145J の2サイズで、価格はオープン価格です。

2000年「交通バリアフリー法」の設定もあり、市内循環路線バスに於ける低床バスの比率は年々高くなってきています。それに伴ってバスへの扁平サイズのタイヤ装着が増加し、従来では見られなかった様な偏摩耗や早期摩耗の発生が懸念されています。最重要性能である「安全性」はもとより、耐偏摩耗性・耐摩耗性に加えて、バス停付近の路肩縁石等からの耐外傷性や更生タイヤ加工を前提にした耐久力が求められます。

新商品「**M628** (エムロクニーハチ)」は、今回確立したトラック・バス用タイヤ新基盤技術「*e-balance* (イーバランス)」を採用する事により、これらの基本性能をさらに向上させる事が可能になりました。

市内循環 低床路線バス 専用タイヤ **TOYO M628**

1. 主な商品特長

トラック・バス用タイヤ新基盤技術「*e-balance* (イーバランス)」※ の採用により、以下の特徴(＝ユーザーメリット)を提供する事が可能な商品となりました。

良好な耐偏摩耗性

新品時の良好なタイヤ形状を使用過程に於いて維持させ、特にフロント軸装着での偏摩耗の発生を抑制しました。これにより、タイヤメンテナンスに関わる工数を低減できます。

安全運行性能 の確保

タイヤ内部歪みを全体的に低減する事で、更生タイヤ寿命まで新品時の耐久力を確保し、低床路線バス専用設計によって操縦安定性、サイド部耐外傷性を向上させました。

耐摩耗性の向上

耐偏摩耗性の向上と共に、耐摩耗性と耐発熱性を両立した新トレッドコンパウンドにより、摩耗に対してシビアな使用条件でのタイヤライフアップを実現しました。

※ トラック・バス用タイヤ新基盤技術「*e-balance* (イーバランス)」とは？

- ①タイヤ形状安定テクノロジー
- ②高剛性新ビードテクノロジー
- ③最適化シミュレーションテクノロジー「T-mode(ティーモード)」



[タイヤ形状変化予測／偏摩耗予測／トラック&バス車両挙動予測／ノイズ予測 etc のシミュレーション技術]

これら3つの新テクノロジーを駆使して、タイヤ内部歪みを低減させ、新品時から使用末期に至るまでの経時変化を抑えることにより、基本となる諸性能の大幅な底上げを可能にするトーヨー独自の新基盤技術です。

2. 発売サイズ

245/70R19.5 136/134J

275/70R22.5 148/145J

3. 発売予定

平成17年 11月

平成18年 1月

以上